

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	29-堺市原池公園[第3期]野球場建	階数	地上3F
建設地	堺市中区八田寺町320-8他124筆	構造	RC造
用途地域	指定なし,法22条区域	平均居住人員	5,184 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,500 時間/年
建物用途	集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年3月 予定	評価の実施日	2018年1月18日
敷地面積	164,072 m ²	作成者	中原大貴
建築面積	3,419 m ²	確認日	2018年1月19日
延床面積	6,228 m ²	確認者	上羽一輝



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.8 ★★★★★★☆☆

S: ★★★★★★ A: ★★★★★★ B: ★★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.5

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 4.2

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.7

3 設計上の配慮事項

総合	その他
公園内に建つ建物として、建物全体のボリュームや色彩は、周辺環境から突出しない調和の取れた意匠としている。また公園の中央に大きな芝生広場を設け、園路には多様な樹木を植えることで、緑豊かな回遊空間を整備している。さらに野球場という用途として、試合開催時の競技用音響設備による騒音対策や、ナイター照明による光害対策には徹底し、公園利用者や周辺環境に配慮した計画としている。	野球場という用途上、客席スタンド以外にも、防球ネットやナイター照明等の設置が必要である。こうした工作物においても、高さの抑制や色彩の調和、樹木育成に影響がない場所への設置等、公園利用者や周辺環境に配慮した計画
Q1 室内環境 事務室・会議室・エントランスホール等には吸音性能・遮音性能の高い室内環境としている。またエントランス上部にはハイサイドライトを設けることで自然採光の確保している。	Q2 サービス性能 バリアフリー計画は移動等円滑化基準を満たしたうえで、広大な敷地に対しても障害者の方が安全に目的地までたどり着ける計画としている。また特に野球場(屋外観覧場)という用途上、害鳥への糞害予防・対策は徹底した計画と
LR1 エネルギー 「BPI値」「BEI値」共に0.90以下とし、外皮の熱負荷抑制、設備システムの高効率化に努める。またハイサイドライトを設け、太陽光を利用した、自然採光システムを計画している。	LR2 資源・マテリアル 防汚性・耐久性に富んだ材料を選定し、周辺環境から突出しない調和のとれた色彩としている。自動水洗、節水機器の採用や、再生可能エネルギー部材の採用により限られた資源を有効利用する計画としている。
	Q3 室外環境(敷地内) 建物の分節化を図り、屋根は極力、高さ(勾配)を抑えることで遠景眺望を阻害しないシンプルなスカイラインに配慮している。また敷地内の園路は既存園路と仕上げを揃えることで既存公園との連続性に配慮している。
	LR3 敷地外環境 敷地中央には緑豊かな芝生広場を設け、園路にも多様な樹木を植えることで、豊かな回遊空間を整備すると共に、周辺温熱環境の改善する計画としている。また屋外照明の光害対策にも適切に努める計画としている。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	29-堺市原池公園[第3期]野球場建設工事	BEE	BEEランク
	建設地	堺市中区八田寺町320-8他124筆	1.8	A
	主用途/延床面積	集会所 / 3,418.88 m ²		

2. 重点項目への取組み		
重点項目	評価点	取組み度
CO ₂ 削減	5	★★★★★
省エネ対策	4	★★★★
みどり・ヒートアイランド対策	4	★★★★
安全快適な暮らし	4	★★★★

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	-	風力	-	地熱	-		
	太陽熱利用	-	水力	-	バイオマス	-		

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア					
CO ₂ 削減	評価項目			スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値			5.0	5
省エネ対策	評価項目			スコア	評価点
外皮性能	CASBEE「Q1-2 2.1.2」のスコアによる評価値	建物全体	3.0	4	
		住居・宿泊部分	0.0		
建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値				4.0
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値				4.0
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値				4.0
効率的運用(集合住宅は対象外)	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値				3.0
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値				3.4
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目			スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値			4.0	4
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値			3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値			3.0	
安全快適な暮らし	評価項目			スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値			4.0	4
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値			3.8	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値			4.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値			4.0	

4. その他	
技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項	
ハイサイドライトによる自然採光	